

(令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間))

策定の目的：有給休暇取得の推進、所定外労働の削減を行い、働きやすい職場環境を創設する

目標① 子の看護休暇制度が時間単位で取得できるよう、制度内容を見直す

計画内容 就業規則変更の検討開始、制度の導入、職員への周知

	看護休暇取得人数	取得日数（延）
令和4年度	9人	33日

目標② 所定外労働時間の削減

計画内容 所定外労働時間の分析、各部署での所定外労働時間削減のための業務の見直し

	令和3年度月平均	令和4年度月平均	差異
医師	42.4時間	40.1時間	▲2.3時間
看護職	17.0時間	16.9時間	▲0.1時間
薬剤師	26.8時間	24.8時間	▲2.0時間
医療技術職	18.5時間	16.4時間	▲2.1時間
事務職	18.5時間	19.0時間	0.5時間
その他	16.7時間	16.2時間	▲0.5時間

※正職員、契約職員

目標③ 年次有給休暇取得日数を平均11日以上にする

計画内容 有休取得状況の周知、計画付与の周知

	平均取得日数	取得率
令和3年	9.2日	51.6%
令和4年	10.5日	59.2%

※1月1日～12月31日

※正職員・契約職員・嘱託職員が対象